

鈴木梅太郎 すずき うめだろう 化学者、農學博士。明治七年四月七日靜岡縣榛原郡地頭方村生れ、昭和十八年九月二十日歿（八七歳一四九三）。明治十九年帝國大學農科大學卒。歐洲留學後、盛岡高等農林學校教授を経て、四十二年東京帝大農科大教授、大正六年理化學研究所研究員、十二年帝國學士院賞受賞、昭和七年ドイツ自然科學學士院會員、十二年滿洲國國務院大陸科學院院長、十八年文化勳章受章。米糠からビタミンB1の抽出に成功した他、米を使はない合成酒を發明した。

著書「營養化學」（二國）郎共著、昭和十年四月二十五日岩波書店「岩波全書」）、「改訂ビタミン」（昭和十五年七月十日日本評論社）、「研究の回顧」（昭和十八年二月）千五百輝文堂書房）、「植物生態の研究」鈴木梅太郎博士論文集・第一巻（理化學研究所鈴木研究室編、昭和十九年八月）千五百北光書房）等。

